

# 和歌山県 (田辺市)

## 環境保全型農業直接支払事業(地域特認取組)におけるIPM技術(性フェロモン剤)の導入の取り組み

### 【1. 概要】

- ・平成25年度に環境保全型農業直接支払事業における地域特認取組の一環として、性フェロモン剤の導入メニューを新設
- ・平成26年3月に「うめのIPM実践指標」を作成、防除指針に掲載
- ・平成27年度の市内取組面積は97a。平成25年度比4.85倍



図1. スカシバコンL

### 【2. 実践内容】

#### (1) 取り組みの背景、経緯

- ・田辺市を含む周辺地域は、日本一のウメの産地である
- ・平成25年度に環境保全型農業直接支払事業取組面積の拡大を図るため、地域特認取組(化学肥料及び化学合成農薬を慣行比5割低減＋性フェロモン剤の導入が採択要件)を新設した
- ・平成25年度の田辺市内の事業取組面積は、20aのみに限られていた

#### (2) 普及拡大に向けたポイント、成功要因

- ・平成26年3月に県うめ研究所が、うめへの性フェロモン剤(スカシバコンL: 図1)の利用を盛り込んだ「うめのIPM実践指標」を作成した
- ・作成した実践指標を農作物病害虫及び雑草防除指針に掲載し、農業改良普及員及び農協の営農指導員等を通じて、生産者への周知を図った

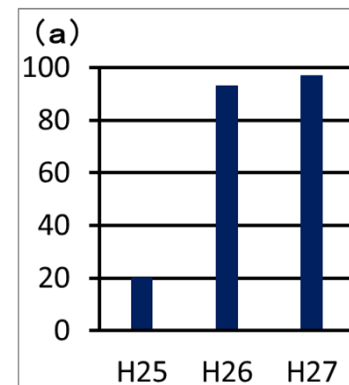


図2. 田辺市におけるIPM技術を導入した環境保全型農業直接支払事業実施面積の推移

### 【3. IPMの推進による効果、得られた経験】

- ・田辺市における性フェロモン剤を利用した環境保全型農業直接支払事業の取組面積が約5倍に増加し、県内の同メニュー実施面積に占める田辺市の割合も29%(平成25年度)から66%(平成27年度)に増加した(図2)

【問い合わせ先】  
農業環境・鳥獣害対策室生産環境班  
電話：073-441-2905